

水差し

世界のムスリムのくらしー日常の中の祈り

G0110

セネガル・中国



※ 色が違う場合があります

ムスリムはお祈りの前に、決まった作法で手足や顔などを水で清める。この水差しはやかんの形をしているが、火にかけることはなく、水を入れてお浄めきよめるときに使う。またお手洗いで紙を使わないので、これを持ってゆくと重宝する。ちなみにムスリムは左手を不浄なものに使うので、食事や握手はかならず右手でおこなう。



三島先生からのひとこと

この水差しに入る水量だけで、お手洗いで用をすますのは難しいと思いました。最初は全部の水を便器に流してしまいましたが、慣れてみると十分すぎるくらいです。しかし「不浄な左手」を洗うとき、左手に石けんをもち、右手で水を垂らし、右手を使わずに左手だけで洗うのにはコツがいります。



横山先生からのひとこと

最近では自宅にシャワールームを完備したお宅が増えてきています。次第に水差しが使われなくなっていくかもしれませぬ。

今中先生からのひとこと

この金色の水差しに記されている「臨夏りんか」とは、中国の中でも回族が多く暮らすことで知られる、甘粛省臨夏回族自治区、もしくはその中心都市である臨夏市のことを指すと考えられます。